

小城市立 小中一貫校 芦刈観瀾校 学校便り 4月13日号

とも に



【文責】 校長：本村 正信 副校長：勝原 理

御入学おめでとうございます

平成30年4月11日、春らしい暖かくしっとりした空気の中、平成30年度の入学式が行われました。平成30年度小城市立小中一貫校芦刈観瀾校に入学された、1年生および7年生の皆さんと保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。それぞれのお子様たちの成長を我々観瀾校全職員が責任を持って支えていきます。ご安心いただきますとともに、芦刈観瀾校が豊かで創造的な教育活動が行えるよう、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

さて、前日は6・8・9年生と職員総出で新入生を迎える準備を行ないました。気持ちよくスタートが切れるよう、子どもたちは細かい点にも気を遣い、一生懸命準備をしてくれました。人のために汗水を流す姿はいつみても美しいと感じます。

当日も、6年生は児童玄関で1年生のお世話をうれしそうにしていました。6年生にとって、自分が「6年生になったんだ」と実感できる役割であり、みんなのやる気がひしひし

と感じられました。1年生もお兄さん・お姉さんがお世話してくれるのがうれしくて、にこにこしていました。こういう光景は見るものの心を本当に温かくしてくれます。

7年生は自立していました。自分たちで靴箱を場所を見つけ、さっさと教室に入ってっていました。「勝手知ったる我が学舎」と背中が語っていました。



頑張っしてほしいこと

入学式での校長先生のお話は、1年生にとっても7年生にとっても、わかりやすく希望を感じさせてくれる内容でした。

本校が小学校と中学校が一緒になった新しい学校であることにふれた後、1年生には「同じ学年や小学生だけではなく、中学生とも仲良くしてください。」7年生には「不安もあるかもしれないが、心配しなくても大丈夫。小学校の先生と中学校の先生が協力して支えてくれる。新しい学習や部活に取り組んでほしい。」とエールを送りました。

続いて頑張ってもらいたいこととして2つのことを話されました。

1つめは本校の合い言葉である「あいあしのこ」についてです。

「あ」＝あいさつをすすんでする子ども

「い」＝命を大切にする子ども

「あ」＝明るく礼儀正しい子ども

「し」＝しっかり学びあい考える子ども

「の」＝のびのびとたくましい子ども

「こ」＝困ったときは助けあう子ども

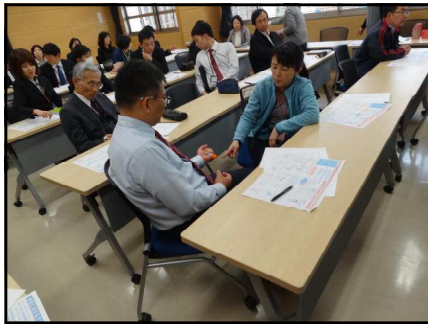
この合い言葉に込められた思いを一つ一つ丁寧に説明された上で、特に「あいさつをすすんでする」と「命を大切にする」については、頑張ってもらいたいと願いを話されました。



2つめは「チャレンジ 夢に向かって前進」についてです。「チャレンジ」とは、あきらめずに頑張ること。「夢に向かう」とは、将来を見据えて希望を持ちつづけること。と説明されました。1年生には、「挨拶をする」「話を聞く」など何でもいいので、自分が観張ることを1つ決めてやりましょう。7年生には、「将来の夢の扉を自分で開く時期である」という自覚を持ち、失敗を恐れず行動してほしいと話されました。加えて、自分が好きな言葉として「夢があるから強くなる」とも話されました。

我々教職員も、子どもたちに「夢を持ち続ける力」を身に付けさせねばと決意を新たにしました。

我々も勉強です



芦刈観瀾校が始業式を行った4月6日の午後。給食の開始に備えて、全職員で食物アレルギーについて研修を行いました。近年、様々な食品に対してアレルギー反応を起こす児童生徒が全国的に増加しています。学校の給食センターでは、そういったアレルギーを持つ児童生徒に対しては、医師の指導をもとに、保護者との綿密な話し合いを重ね、万が一のことがないよう細心の対応を行っています。

しかし、何かの間違いでアレルギー反応を起こす食品を口にした場合、どう対応すべきか。「エピペン」と呼ばれる「アナフィラキシー症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐため、患者自身が自己注射する補助治療薬」の使い方や対応の仕方などについて養護教諭、栄養教諭を講師として研修を行いました。子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることができるように、我々も日々研修の毎日です。

アレルギー対応の一つとして、学校では旅行に行ったお土産のお菓子を友達に配ることを遠慮願っています。また、遠足等でお菓子を交換することも控えさせています。これらのことは、「子どもたちの命を大切にする」をいう学校の使命を果たすためであることを御理解いただき、御協力をお願いいたします。

アレルギー対応の一つとして、学校では旅行に行ったお土産のお菓子を友達に配ることを遠慮願っています。また、遠足等でお菓子を交換することも控えさせています。これらのことは、「子どもたちの命を大切にする」をいう学校の使命を果たすためであることを御理解いただき、御協力をお願いいたします。